

## ねばり強く協調性をもって



豊栄高校進学指導係  
若狭 富士雄

不況の影響で高卒者の就職も依然として厳しい状況ですが、昨年よりはやや良くなってきたと言えます。進学者は専門学校などへ行

く実学志向が強くなっているのが最近の傾向です。不況ですから就職者には県外をあっせんしているのですが、長男長女の時代を反映してか、県内希望者が多いですね。一般的に今の子供たちは、率直だけど覇気がないように思われます。進学者も就職者も、それぞれの道で協調性をもってねばり強く頑張つてほしいと思います。健闘を祈ります。

## 最初からあきらめないで



高橋 美和子  
(十二)

第四銀行に就職が決まり、四月から水原支店に勤務することになりました。勤め先が近いので安心です。

学校ではタイプ部に入っていました。文化祭で実行委員をやったことや保健係として体力測定の手伝いをしたことなどが思い出に残っています。今は仕事に対する不安でいっぱいですが、頑張ればなんとかなることを学生時代に学びました。どんなことでも最初からあきらめないで、物事にぶつかってみようと思っています。

## のときを信じて

三月一日、豊栄高校で卒業式が行われ、男女合わせて二百七十一人が学舎を巣立ちました。卒業生の進路は、進学希望者が約七十人、それ以外が就職希望者となっています。進学希望者の内訳は、大学と短期大学が約二十人、専門学校などが約五十人です。また、就職希望

東京のスーパーマーケットに就職が決まりました。都内に店舗が十一あるんだそうです。家が金物屋なんです。が、よその

めしを食うのも大事だ」と言われて…。いずれは家業を継ぐつもりなんです。三年間は社会勉強のつもりで楽しく働いてみようと思っています。客商売には不向きだと人から言われますが、自分では結構合っていると思っています。豊栄に帰ってきたら、店舗を広げてもっと多くの品物を買いたいし、水道やガスの配管工事もやりたいですね。

## 豊高の卒業生は語る

### 旅立ち可能性

者の内訳は、県内が約五十人、県外が約五十人となっています。今月号では、卒業生で大学へ進学する人、社会に巣立つ五人から「高校生活の思い出」「これからの抱負」など、また、送る立場で先生からアドバイスなどをお聞きしました。

## 物事すべて最初が肝心



古川 文子  
(常盤町)

新潟市にある新潟電子計算機専門学校へ行きます。就職率が良いからと先輩とかに勧められたんです。学校は一年間ですが、卒業し

たらコンピューター関係の仕事をしたと思っています。高校では空手部に入っていました。が、礼儀を重んずるスポーツなので勉強になりました。根性が養え健康面にも自信ができました。先輩からは、仕事でも学校でも最初が肝心だと言われています。友達はみんな就職するんですが時々会って話し合い、社会に出る時に参考にしたいですね。

## 勇気と責任をもって



鈴木 聖子  
(内沼)

市内にある金泉堂書店に就職します。二月半ばから研修に行き今月の五日から勤めました。高校時代は卓球部のマネージャ

ーをやっていました。が、試合の時など選手の緊張をほぐすのに苦労したことなどが忘れられません。家の人からは、お客さん相手の仕事なのでいつも笑顔で接しなさいと言われていました。高校に入ったところは人前で話すのが苦手だったので、自分なりに努力して結構積極的になったつもりです。勇気と責任を持って仕事をしたいと思っています。

## 他人のめしで社会勉強



佐藤 勇一郎  
(木崎)

## 新聞配達をしながら大学へ



徳江 呂維  
(白新町1)

愛知県にある大学に進学することになりました。読書が好きなので、大学は新聞配達を選びました。大学は新聞配達をしながら行く

予定で、販売所に住み込みます。親は心配なんでしょうが、あまり細かいことは言いません。ありがたいですね。豊栄を離れる時期が近づいてきてから、豊栄のことはつきり見えてきました。先輩には自分の住んでいる地域をもっとよく見てほしいですね。向こうには知り合いが誰もいないのでちょっと心配ですが、空手で鍛えた体と心で頑張ります。